



お母さんたちの強いネットワークが、情報発信の味方に！

お母さんたちのネットワークって、本当にすごい！ 息子を幼稚園に通わせるなかで日々そう実感しています。いい情報も悪い情報も、子どもに関わるとなるとあつという間に広まるんです。

なかでも、間違っていたり中途半端だったりするのが歯科の情報。「フッ素って本当はよくないんでしょ？」と言う人もいれば、他に予防方法はあるのに「菌がうつるから、他人のお箸には絶対にさわらせないようにしてるの！」と極端なことを言うお母さんも……。インターネットに出ている古いデータや、テレビで取り上げられた断片的なエピソードを信じている方は多いですね。

だからこそ、Goodbye Perioプロジェクトの活動を知ったときにはハッとしました。「そうだ。身近なお母さんたちに正しい情報を伝えよう」「歯科衛生士の私にはそれができるんだ！」って。

“何でも聞ける雰囲気”は、医院の外ならでは！

そこでさっそく活動の場を選んだのは、屋台が並ぶ地域のお祭。院長にも協力してもらい、「お口の相談窓口」を開きました。すると、たくさんのお母さんがむし歯や口臭、矯正のことを聞きに来てくれたんです。最後に歯肉炎の子が多いことを伝えてフロアを渡すと「え、歯磨きだけじゃだめなの？ どうやって入れるの？」と反応してくれる方も！ 医院の中とは一味違ったざっくばらんなやり取りに手ごたえを感じました。

私自身、耳鼻科に行くとき緊張してしまい、聞きたいことを聞けず帰ることがあります。もしかしたらお母さんたちも、歯科医院独特の雰囲気の中で聞きにくいのかもかもしれませんね。だとすると、医院外の活動は正しい情報を知ってもらおうのにはぴったり！ 子どもの頃から歯周病予防をする必要性を知れば、お母さんの「歯医者さんに連れて行くこと」というモチベーションはグッと上がるはず。今後も活動を通じて、来院につながる流れをつくっていききたいと思います。

「身近な人たちに伝える」

それがGoodbye Perioプロジェクトの活動です。
あなたもメンバーになりませんか？

登録は<http://perio.tuftclub.jp>で！

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく！

Goodbye
Perio
Project



医院の外で
“正しい情報”を伝えて、
来院のきっかけをつくりたい！

篠宮 あゆみさん

(埼玉県)
臨床歴7年

Goodbye Perioメンバーの篠宮あゆみさんは、
二児の子育て真っ最中！

“子どもの健康を願う母親の気持ち”が
身に染みてわかるからこそ、
ママ友を中心に情報発信をしています。
歯周病予防の大切さを医院の外で
伝える意義についてうかがいました。

